あり組・ひよこ組・りす組

聖和乳幼児保育センター

10月も暖かい日差しの中で保育者と一緒に手を繋いで散歩をしたり、 探索活動を楽しんだり、戸外で思う存分体を動かして過ごしました。 ダンゴムシやありを見つけて「お!」と指を差し目で追ったり、木の実や 葉っぱを握って歩いたりと興味を広げて遊ぶ姿が見られています。 また、意欲的に歩く子どもが増えてきたので、「よーい、どん!」と言って 手を広げると満面の笑みで保育者の方へ近づいてきてくれます。戸外遊びの 準備の際には"帽子取っておいで"と伝えると頭をポンポンと抑えながら 取りに行こうとしたり、自分の持ち物も分かってきたようで靴や帽子を取り 出して身に着けようとしています。友だちにも関心を持ち、はいはいで 追いかけっこをしたり、目を合わせて笑い合ったり、泣いている友だちの 頭を撫でたり、優しい関わりも見られるようになりました。これからも 友だちと一緒に遊ぶことを喜んだり、気持ちを通わせたりしながら 過ごせるように見守っていきたいと思います。

11月は収穫感謝礼拝があります。みんなで持ち寄った野菜や果物に 触れ、秋の実りを神さまに感謝して礼拝を守りたいと思います。また、 11月後半から、クリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。 保育室に少しずつ増えていく装飾を見たり、さんびかを聞いたり しながらイエスさまのお生まれになったクリスマスを楽しみに 待ちたいと思います。

朝夕は涼しくなり、秋らしさを感じる季節になりました。子どもたちは 巧技台からジャンプをしたり木の実やどんぐりを探したり、体を動かす ことを楽しんでいます。 室内では B ブロックが大ブームで、使えるパーツが なくなるほど夢中になって好きな色を選び、救急車やバスを作って走らせて います。遊びの中では、「カンカンカン」と踏切の真似をしながら友だちと 緒に楽しむ姿も見られています。また、朝の会話の時間には歌に合わせて 名前を呼ぶと元気に返事をしたり、「大きな栗の木の下で」などの手遊びも 大好きで楽しんでいます。

昼食では、自分で食べようとする姿や、手や口周りをタオルで拭き片付けを しようとする姿が見られます。自分でやってみようとする姿を大切に、 難しいところはさりげなく手を添えながら丁寧に見守っていきたいと 思います。食事は苦手なものも小さくしたり量を調節しながら無理なく 味や食感に慣れていけるようにしています。友だちが食べる様子を見て一緒に食べてみようとする姿も見られ成長を感じています。

11月はみんなで持ち寄った野菜や果物に触れる中で、神さまが くださった豊かな恵みに感謝しながら収穫感謝礼拝を守りたいと 思います。また、11月後半からはクリスマスを待ち望むアドベント (降誕節) に入ります。保育室や園内に少しずつ増えていく装飾を 見たり、お家の方へのプレゼントを作ったりしながらクリスマスを 楽しみに待ち、神さまの愛を感じながら過ごしたいと思います。

朝夕は涼しくなり、秋らしさを感じる季節となりました。戸外では、 赤やオレンジに色づいた葉やどんぐりを夢中で集めている子どもたち です。11月11日(火)には、友だちと手を繋いで聖和キャンパスで 秋の散歩を予定しています。帰園後は乳児園庭でお弁当を食べ、楽しい ひと時を過ごしたいと思います。

朝の集まりの時間は椅子を馬蹄形に並べて座っています。 子ども同士で お互いの表情がよく見えて、嬉しそうに歌をうたったり、絵本を見たり、 楽しんで過ごしています。また、給食後にティッシュで口周りや手を 拭いたり、午睡明けにはタオルケットを保育者と一緒に畳んだりしています。

「おおきくなったから?」「もうおねえさんだもん!」とできることが 増え、喜びを感じながら過ごしている子どもたちです。難しいところは 手を添えながらも自分でやってみようとする意欲を大切にしながら 見守っていきたいと思います。

11月は収穫感謝礼拝を守ります。持ち寄った野菜や果物に触れ、 神さまがくださった秋の恵みに感謝したいと思います。また、11月後半からはクリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。 礼拝の中でイエスさまの降誕の話を聞き、神さまからの愛を 感じながら過ごしていきたいと思います。アドベントカレンダーの 飾りやプレゼント制作では、ストロースタンプや毛糸巻きを 楽しむ予定です。思い思いに表現する楽しさに共感しながら クリスマスを心待ちに過ごしたいと思います。

『ぺんぎんたいそう』の 絵本が大好きな子どもたち。 最初のページ、「ぺんぎんたいそうはじ めるよ」と読むと立ち上がり、手をパタ パタと動かしたり、お腹と頭をくっつけ たりと自然と体が動き始まる子ども たちです。一生懸命表現する姿が とてもかわいいです。

園庭で虫探しを 楽しむ子どもたち。ある時、 ダンゴムシを見つけた A ちゃん でしたが、「**むしさんこわい。B<んに あげる…**」とぽつり。それを聞いた B くんは「**ありがとう**」と返事をして A ちゃんのかわりにダンゴムシをバケツに 入れていました。その後は2人で一緒に 落ち葉や木の実を見つけてバケツに入れ、 仲良くダンゴムシを観察していました。 友だちとの関わり、自然とのふれ 合いをこれからも大切に見守って いきたいと思います。

『やきいもグーチーパー』の 手遊びが大好きな子どもたち。 じゃんけん(勝ち負け)の理解はまだ 難しいですが、保育者や友だちと一緒に 『グー』『チョキ』『パー』を出すやりとりが 楽しいようです。中には、右手と左手 それぞれに別のポーズを出す二刀流の 子どももいて、思わず笑ってしまいます。 あいこになると「せんせいといっ しょ!」と満面の笑顔になり、 嬉しそうにしている姿が かわいらしいです。